

大沼自然豊かな森づくり協議会における 多様性のある森林への再生等について

駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター 所長 福浦 清和
自然再生指導官 堀川 栄樹

紹介の背景

大沼地域の国有林は、大沼国定公園エリア内外に所在し、水質保全、鳥獣生息環境及び景観の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域です。

大沼自然豊かな森づくり協議会において、地域のニーズを踏まえながら取り組んでいる「多様性のある森林への再生」と「森林環境教育の推進」について、地域住民等と連携した活動を紹介します。

紹介の内容

1. 多様性のある森林への再生

(1) 広葉樹の森林づくり

吉野山国有林では、大沼地域等から採取した広葉樹の種子や稚幼樹を利用した植付を行うなど、針葉樹人工林を多様な樹種から構成される広葉樹の森林へと誘導しています。

また、この取り組みによる下層植生への影響等を調査するため、森林植生観察会を開催しています。

(2) 国際ワークキャンプによる森林ボランティア

国際ワークキャンプに参加して世界中から集まった若者達が、ボランティア活動の一つとして、植付、下刈、作業道整備等の森林作業による多様性のある森林づくりを行っています。

2. 森林環境教育の推進

(1) 樹木博士認定活動

樹木や森林についての関心と理解の醸成を図るために樹木博士認定活動を推進しており、平成16年に設置した西大沼国有林の樹木博士認定常設コースを拠点とし、延べ1,845名に樹木博士の称号を授与してきました。

(2) 森林づくり塾

「森林づくり塾」を渡島総合振興局東部森林室の「森への誘い講座」と連携し開催しています。これにより、森林の役割や森林づくりの基礎を学び、森林作業を体験して技術の習得や楽しみ方等を知り、森林・林業への理解を深めることで、森林ボランティアへの意識の醸成と森林環境教育のリーダー育成等を図っています。

今後に向けて

大沼自然豊かな森づくり協議会では、今後も地域のニーズ等を踏まえながら、地域住民や森林ボランティア等と連携し、広葉樹の森林への誘導等を通じて、多様性のある森林への再生の取り組みを進めます。

また、樹木博士認定会や森林づくり塾等の体験活動により、樹木や森林に対する関心と理解の醸成を図り、各地域において森林ボランティアや森林環境教育等の活動が円滑に展開されるように、人材育成と活動の支援を行っていきます。



広葉樹の森林づくり



国際ワークキャンプの森林ボランティア



樹木博士認定会



森林づくり塾(下刈り体験)